

新居浜市地球高温化対策地域協議会幹事会会議録(第4回)

日 時：平成22年 6月22日(火) 13:30～15:30

場 所：市役所3階 応接会議室

出席者(敬称略)：新居浜商工会議所(渡邊)、新居浜市議会(高橋)、にいはま環境市民会議(真鍋)、新居浜市PTA連合会(白石)、新居浜市老人クラブ連合会(佐々木)、新居浜市農業協同組合(鈴木)、新居浜市食生活改善推進協議会(秦)、新居浜市消費生活改善推進協議会(続木)、新居浜市連合婦人会(定岡)、愛媛県トラック協会新居浜支部(寺西)、四国電力(株)新居浜支店(石川)、新居浜市公民館連絡協議会(真鍋)

欠席者：新居浜市連合自治会、温暖化を止める会新居浜、新居浜建設業協同組合、新居浜市女性連合協議会、いしづち森林組合、

傍聴人数：1名

事務局：神野、曾我、藤田、小松、守長、青野、高橋、吉岡
(ごみ減量課) 本田、近藤

参与

皆さん、こんにちは。定刻が参りましたので第4回新居浜市地球高温化対策地域協議会幹事会を開催させていただきます。今日の欠席について事前連絡があった方が、新居浜市連合自治会、温暖化を止める会新居浜、新居浜建設業協同組合、新居浜市女性連合協議会の以上4名の方です。いしづち森林組合さんがお見えになっていませんが、始めさせていただきます。

開催に先立ちまして、幹事会の委員の交代がありました。新居浜市議会の環境建設委員長ですが、藤田豊治議員から高橋一郎議員に変更になりましたので、ご紹介をいたします。

【新居浜市議会環境建設委員長 高橋一郎挨拶】

参与

それでは、お手元にお配りしております会次第に従いまして、進めたいと思います。

まず論点整理表についてですが、前回の会でみなさんにいろいろご議論を頂きましたが、その議論の内容を整理したものでございまして今後は、このような形で論点整理表にまとめながら会を進めてまいります。

【配布資料の論点整理表「論点1」の説明】

参与

論点1の「マイバック持参の普及啓発運動」について何かご意見はございませんでしょうか。

秦

のぼりやチラシ、CATVでの広報活動はすでにありますが、そこにこの協議会の名前を入れるという事ですか。

参与

そうです。今すでにある活動に、この地域協議会も参加させていただいて、連名で活動していくということです。またそれ以外に普及啓発運動にご意見があれば、どんどん発言していただければと思います。

秦

市長が、これからは思考よりも行動であるとテレビ等で繰り返し発言しています。そういったことも考えると、言葉で皆さんに周知徹底をするよりも、少しずつでも、結果や評価が分かる具体的な行動をしていくほうが良いと思う。

参与

他にご意見はございませんか。

眞鍋

論点1以外の意見でもいいですか。

参与

論点1から順番にと思っておりましたが、いったん全部の論点について説明をしましょうか。

【賛成多数】

参与

では他の論点についても、ご説明いたします。

【配布資料の論点整理表「論点2、3、4」の説明】

参与

先ほど秦委員さんもおっしゃっていましたが、この協議会での具体的な行動について多数のご意見を頂きまして、この論点整理表に整理し、行動に移していきたいと思えます。

眞鍋

論点3についてですが、マルナカ・マルヨシの2社が、レジ袋無料配布中止に参加していないことが、どの議論でも毎回でてきます。実際には与える影響は分かりませ

んが、この2社だけが得をしているのではないかという目で見えてしまいます。不公平感をなくすためにも、この地域協議会の組織として、マルヨシ・マルナカにも参加いただくよう、直接、お願いに行くのがいいと思います。

参与

眞鍋委員から具体的な提案がありました。この地域協議会、いわゆる市民の集まっている団体として、マルナカ・マルヨシの2社に、レジ袋無料配布中止協力店として参加していただけないかと、お願いに行ったらどうかというご意見でしたが、この点についてはどうでしょうか。

秦

前にも同じ意見が出てたと思いますが、その後どうなっているのでしょうか。

参与

今はまだ議論の途中ですが、この会で行くと決めていただければ、そういった段取りは進めます。

それでは、今、眞鍋委員から具体的な行動提案がありました。これについてはご賛同いただけますでしょうか。

【賛成多数】

参与

一つの具体的な行動としましては、要請行動をするということですね。その他のご意見はございますでしょうか。

続木

論点3についてですが、先日マイバック持参率86%ということを書いていましたが、それを100%に近づけるためには、ここに書いてあるように、この地域協議会に参加している各種団体の方々が、自分たちの団体に再度呼びかけをし、レジ袋削減協定締結団体を増やすことも一つの方法だと思います。

参与

レジ袋削減協定締結が今は5団体だけであるが、ここに参加しているそれぞれの団体に呼びかけをして、協定締結団体を増やしたらどうかという意見が続木さんからありましたが、関連して他にご意見はございませんか。

秦

レジ袋削減推進協議会は、みんながレジ袋を削減しなければならないと集まった団体です。私たちの団体もレジ袋削減には協力していますが、このチラシのように協力団体と表記されたら、この5団体だけしか協力していないように見えてしまいます。このようにして表記しなければならないものなのではないでしょうか。

参与

ここに表記されている5団体は、レジ袋削減推進協議会の協定締結した団体です。チラシ表記については、女性連合の皆さんもマイバックを持って買物に行っていて下さっていますので、チラシのように協力団体とすると他にも協力していただいている団体がたくさんあり、団体に所属しない個人もたくさんの方がマイバック持参で協力しているのです、協定団体と表記すべきだったと思います。

また、私たちの地域協議会は、レジ袋削減推進協議会よりも後に出来ましたので、前にも意見がありました、この地域協議会としては、協定締結団体に参加するかどうかについて決める必要があります。

では、先ほどの協力団体や協定締結団体に、この地域協議会に参加する団体は加わるべきではないかというご意見についてはいかがでしょうか。

私の意見としては、この地域協議会の中にはたくさんのメンバーや団体が入っていますが、各々で協定締結するのではなく、地域協議会の名前一括で協力していくのがベターだと思います。

この地域協議会は、団体や個人どちらでの参加も容認しているので、この地域協議会として締結をし、この地域協議会の団体や個人会員をもっと増やし、盛り上げていくのが一番いい方法だと思います。

真鍋

この協議会はレジ袋の削減を取り上げていますので、市民団体としてこれだけの参加者がいるのですから、市民の総意として、レジ袋削減協議会に参加していないマルナカ・マルヨシに参加してくれないかとお願ひに行くことが効果的だと思います。

参与

今議題になっているのはレジ袋削減推進協定締結団体に、この地域協議会が加わったら良いのではないかということなのですが。

真鍋

それについては、レジ袋削減協議会との話になるかと思いますが、それは次のステップで良いと思います。

参与

誤解があるかもしれませんが、私たち地球高温化対策地域協議会もレジ袋削減推進協議会が行う運動を応援し、例えばティッシュ配りやチラシ配りの人員が必要な場合は、この地域協議会に参加している団体をお願いをして、数名お手伝いの人を出すような関係で、レジ袋削減推進協議会そのものに参加して、委員として発言することは今の段階では想定していません。

真鍋

レジ袋削減協議会に参加するとなれば、この地域協議会の代表が参加することになるのですか。

参与

要請があれば参加しますが、向こうから要請がなければ、委員として参加はしないつもりです。

佐々木

この地域協議会は、単にレジ袋削減だけではなく、もっと広範な形で進めていこうということなのですから、レジ袋削減推進協議会は、レジ袋削減協議会でやってもらい、私たちは私たちで、どんどん進めていけばいいと思います。

秦

私もそう思います。

参与

その他にご意見はございませんか。

佐々木

論点4について、解決策はゴミ袋の有料化であるとなっていますが、これはまったく別の問題であり、別の形で議論しなければならないことだと思います。

参与

すみません。論点1から論点4まで、いろいろご意見が出ていますが、今の佐々木委員のご意見は、ひとつひとつ片づけたいので、この後で議論させてください。先にこの地球高温化対策地域協議会に参加しているという自覚を促すためにも、この地域協議会に参加している団体は、レジ袋削減協定締結団体となり、その運動を盛り上げていったらどうかという意見についてはどうでしょうか。具体的に言うと、レジ袋削減推進協議会と協定を結ぶということです。

佐々木

無理に参加しなくても、共催のような形でいいのではないのでしょうか。

参与

チラシには、協力団体と表記して5団体だけの名前ありますが、実際はその5団体以外にも協力している団体はあるのに、そこしか協力していないという誤解を招くというご意見もありましたので、それを解消する方法として、これから作るのぼりやチラシには協力団体として、この地域協議会についても表記してもらおうという提案です。他の考え方があるならば、ご意見をいただければと思います。今後チラシを作る際には、この5団体だけが記載されるのですか。

近藤

それは、特にこだわりがあるわけではありません。

参与

のぼりの表記はチラシと同様に5団体についても表記があるのですか。

部長

新居浜市レジ袋削減推進協議会とだけ表記しています。

参与

私は、新居浜市レジ袋削減推進協議会と新居浜市地球高温化対策地域協議会の2つを表記してもいいのではないかと思います。チラシのような表記の方法だと、締結団体が増えるたびに全部表記していくことになってまいります。

本田

キャンペーン用のチラシですが、レジ袋無料配布中止を実施しているスーパーが限られていますので、こういう表記になりました。ただ、レジ袋削減推進協議会はレジ袋削減のために協議していこうということで、レジ袋無料配布中止には未参加の事業者についても、協議会には参加いただいていますし、協議会名でそういった取り組みをしていこうということについては、協議会の賛同は得られると思います。

秦

この地域協議会は、先ほど佐々木委員のおっしゃっていたように、レジ袋無料配布中止についてだけ議論する会ではありません。地球温暖化防止のためにやらなければならないことが、たくさんあります。のぼりやチラシに、私たちの地域協議会の名前も表記してほしいという話ではなく、違うことについて議論したらどうでしょうか。

眞鍋

私もそう思います。秦さんたちが言われるように、レジ袋削減問題については、この協議会の議論のテーマのほんの一部ですから、我々が何をするのかを議論すればいいと思います。

参与

議論を整理させていただきます。レジ袋無料配布中止協力店と協定を結んでいる、レジ袋削減推進協議会というものが一方ではありますが、私たちの地域協議会は連携協力しますが、名前の表記や、そこに加入するか、協定を締結するかについては、こだわらないと整理させていただいてよろしいでしょうか。

寺西

レジ袋削減については、他にレジ袋について専門に議論する協議会にまかせて、この会でレジ袋についての議論はせず、他ことをの議論をすればいいと思います。

参与

この高温化対策地域協議会としては、マイバック持参運動、エコドライブ、節電節水の3つについて、具体的行動を議論することを決めました。新居浜市は愛媛県内の他市に先駆けてレジ袋無料配布中止を始めたので、もっと市民的な広がりを持たすためにマイバック持参運動についてまず議論を始めましょうという全体の流れがあって議論を進めていますので、そこはご了承ください。

秦

マイバックの必要性の周知徹底や、活動を広げていくためにもマイバックを作っすべての世帯に配ったらどうかと、前回意見を出しましたが、それから進展はありま

したか。遅々として進まないのではなく、何か目に見える評価や行動を早く起こしたいのです。

参与

そういう方向で、議論をまとめて行きたいと思っております。しかし引っかかっている部分を一つ一つ整理していかないと次に進めません。名前の問題に皆さんこだわりがあって、前回からずっと出ているので、いったん整理をしたいのです。

高橋

このチラシにある協力団体以外にも協力している団体もあるのに、この表記で良いのかという話だと思うので、チラシには協力企業の記載と、この地域協議会名だけ表記することにしていただきたいということで、チラシの話はもう終わりにしたいのですが。

参与

地球温暖化対策地域協議会の名前が入る事は、レジ袋削減推進協議会はいいのですか。

部長

これは1周年記念のキャンペーンということで、レジ袋削減推進協議会のキャンペーン実行委員会で決めたチラシです。ですから、表記についてはそのレジ袋削減推進協議会に確認しないと、なんとも言えません。

高橋

ここには決定権も何もないということですね。

部長

そうです。このチラシは、レジ袋削減推進協議会の活動を説明するための資料としてお配りしただけです。

秦

地球高温化対策地域協議会として、何ができるのかが大事であり、いろいろな分野で活動している団体が目標を持ってできるものを考えればいいと思います。

眞鍋

地球高温化対策地域協議会で、レジ袋無料配布中止に協力していただいていない事業者をお願いしていけばいいと思います。

参与

レジ袋削減推進協議会は別の組織であるため、目的・目標は同じであるが、のぼりやチラシに地球高温化対策地域協議会の名前は入れずに協力していくことにしたいと思います。

本日は、論点1から論点4まで議論してきましたが、佐々木委員さんからごみの有料化とは切り離して考えたほうが良いという意見に対して議論したいと思います。

眞鍋

レジ袋削減推進委員会ができた時には、ごみの有料化も検討していた時期であったように思います。しかし、政治的な判断もあったと思いますが、ごみの有料化は断念し、レジ袋削減推進協議会だけが残ったように思います。

白石

PTAの役員会でも話をしますが、役員の中でも浸透していないと感じます。レジ袋を5円で買ったお金を、基金に寄付するという話についても市民はあまり知らないと思います。

秦

レジ袋の無料配布中止店に行くと、マイバックを持っていないので5円出して買えばいいという状況になっています。はたしてレジ袋を買うことが有料化なのか、指定袋制にしてその指定袋を有料にしての有料化なのでしょう。

参与

ステーションにごみを出す時に、指定袋制にする方法が有料化です。今のようレジ袋がごみ出し袋として使えるのは矛盾していないかという指摘がありましたので、有料化もあわせて検討すべきだと判断し、論点として整理いたしました。

佐々木

ごみの有料化は、不法投棄等さまざまな問題があるので、その話をしないで有料化はしないほうがいいと思います。

秦

市民全体にごみに関してアンケートなどをとったことはありますか。

部長

市民全体にアンケートをとったことはありませんが、レジ袋無料配布中止を始めて一年が経過いたしましたので、7月にレジ袋無料配布中止に関してのアンケートをとるよう予定しています。

佐々木

レジ袋を使用してのごみ出しをしない運動を並行して進めてはどうでしょうか。

秦

ごみ出し用の袋を買う人もいるし、5円で買ったレジ袋でごみを出す人もいるし、無料でもらったレジ袋でごみを出す人もいると思いますが、今の市民の現状を知る必要があると思います。

佐々木

私の家では、生ごみを使い古しの封筒や紙袋に入れて出さなければいけないので、紙袋に入れて、それをナイロンの袋に入れて出しています。

本田

生ごみは、中身の見える袋に入れると、カラスにつつかれる可能性があるのですが、新聞紙などに包んで入れるとカラス対策ができるという話をご紹介します。

参与

地球高温化対策地域協議会は、地球高温化対策のために、CO₂の発生を抑えましょうという目的で議論しており、今のテーマは、レジ袋に代表される石油製品を減らすためにマイバッグ持参運動をしようという議論ですので、レジ袋の削減について、お知恵を貸していただきたいと思います。

眞鍋

生ごみ以外のごみを紙袋で出すようにすれば、ナイロンのごみ袋は減ります。

石川

地球高温化対策地域協議会として、有料化などの理想や目標を出してまとめたうえで、行政に提言書として提出するのも活動の指針になると思います。また、その中には、西条市等の周辺の自治体の比較を行い、地球高温化対策地域協議会独自の色を出していったらどうでしょうか。

論点1から論点3までは、レジ袋削減推進協議会と重なる部分が多いので、論点4について重点的に議論をしたらいいと思います。

参与

行政に対して提言するのもひとつの方法であるとの意見ですが、何かご意見はありますか。

定岡

ごみの出しとして、指定袋についても考えてみたらいいと思います。

秦

ごみを出す側の市民の意見が大事だと思いますので、現状を知るためにも、アンケートをとったらいいと思います。

眞鍋

レジ袋がごみ袋として使えなくても、無料であればもらおうと思います。

続木

私たちの会員の中でもマイバッグ持参率が100%ではないため、そういった関心の無い人たちに対する周知・教育・学習が必要だと思います。

参与

他市でレジ袋無料配布中止をしている自治体でも、売上げが減って協定から脱退する事業者も出ていると聞いています。自発的に教育・学習する場がないとだめだということと、政策的にごみの出し方に制限をかけていくことの二つがあるため、地球高温化対策地域協議会で方向がまとまるのであれば提言をしていくのも方法のひとつであると思います。

高橋

レジ袋無料配布中止から1年たったばかりです。1年ぐらいでは成果はあがらないと思いますので、市民の方にマイバッグ持参を呼びかけることが大事であると思います。

参与

レジ袋をごみ袋として出すのはだめで、指定袋でしかごみは出せないようにするのに賛成の方は、挙手をお願いします。

【賛成多数】

参与

この件につきましては次回までに、みなさんで具体的に議論しやすいように、他市の事例などを表記したわかりやすい資料を作成いたします。そのほか、現在協定を結んでいる6事業者に対しての支援の方法についてのご意見はありますか。

秦

特に具体的な事例は思いつきませんが、そのお店に行けばお得になるものがないと思います。

高橋

マルナカ・マルヨシへは、次の会までにお問い合わせに行かないのですか。

参与

この地域協議会の会長は市長で、副会長は商工会議所青野会頭と日野連合自治会長であるので、お願いに行くメンバー等も含めて調整したいと思います。

参与

その他なにかありませんか。

ないようでしたら、次回の幹事会の日程ですが、7月20日（火）15時00分からこの応接会議室にて開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。
委員の皆様には、長期間にわたりご討議いただき、大変ありがとうございました。
次回からも活発な討論をお願いいたします。